



エミールだより

5月

エミール保育園
園長 江口 浩三郎

「モンテッソーリ教具は、なぜ子どもをひきつけるのか」

頭の上では若葉がいっせいに茂りはじめ、足もとではつつじが咲きほころにぎやかな季節を迎えました。新しいお友だちもすっかり園になじんだようで、お誕生会の場合でも全く区別がつかないようでした。やはり同じ年ごろの多くの仲間といっしょに過ごすのは楽しいんでしょうね。青葉若葉がたがいにこすれあって光輝くように、子どもたちひとりひとりも、みんなのなかで輝き始めているようです。

ところで、モンテッソーリの理想や主張に共感して実践をはじめた私たちにとって、何が有難いのかといえばやはり「教具」の存在です。しかもその教具を子どもたちが自分の成長の糧として、積極的に取り組んでくれるからなおさらです。その理由をいくつか挙げてみましょう。

- ① 誕生後6歳ぐらまでにあらわれる、「秩序」や「言語」「数」といった「敏感期」を、十分に満足させるものが揃っていること。

敏感期をどう過ごすかは、子どもの人格形成にとって最大の課題です。「教具」はその全ての課題を、十分に満足させてくれるような内容を持っているのです。

- ② 知性の発達を促してくれる。

知性とは、ものごとを深く考え、どんな環境におかれてもうまく適応して生きていくための力ですが、「教具」には、その発達を自然とうながしてくれる仕組みが備わっています。

- ③ どの教具も、子どもの指や手のはたらきを必要としている。

手や指は「第二の脳」といわれるように、何万本もの神経が集中しており、動きが全て脳の発達につながっています。教具を扱う作業は「仕事」(ワーク)と呼ばれるだけに、まさに職人さんの手作業と同じことの繰り返しになります。

- ④ 子どもを抽象の世界に連れていってくれる。

幼い子どもの出発点はまさに具体物の世界で、自分の五感で環境と接しています。しかし、数字や文字を使いこなしたり、目の前にないものでも想像力をはたらかせて理解しなければ、より広い世界へは進めなくなります。

「教具」は、この子どもたちを順序よく自然に抽象の世界へ導いてくれるように仕組みられています。

今日も朝から静かなクラスの雰囲気の中で、どの子も真剣な表情で教具に取り組んでいます。いったいどんな新しい世界が生まれつつあるのか、頭と心の中をのぞいてみたいような気がしますね

(園長より)

父母の会総会のお知らせ

日 時：5月15日（金）17：30～18：00

会 場：保育園2F ホール

議 題：H26年度事業報告・決算・H27年度事業計画・予算他

父母の会は、全員が会員ですので、総会にはぜひご参加下さい。

欠席の場合は、委任状を提出してください。詳しいご案内は後日配布します



5月の行事予定

1	金	
2	土	
3	日	憲法記念日
4	月	みどりの日
5	火	子どもの日
6	水	振替休日
7	木	
8	金	第1回 父母の会役員会
9	土	
10	日	
11	月	個人懇談0.1.3歳児
12	火	
13	水	
14	木	園外散歩(弁当)
15	金	↓父母の会総会
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	第2回 父母の会役員会
23	土	
24	日	
25	月	誕生会
26	火	
27	水	避難消火訓練
28	木	ペアレントくらす ふわふわルーム
29	金	
30	土	
31	日	

体育教室 5歳児

1.8.15.22.日 金曜日

絵画教室 28日(木)

4歳児(午前) 5歳児(午後)